

「第12回取引先様向け食品安全勉強会」オンライン開催 2022年4月完全義務化の“原料原産地表示”を学ぶ

株式会社日本アクセス（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：佐々木淳一、以下：当社）は、食品安全に関する事故の未然防止を目的として、2021年11月15日（月）に「第12回取引先様向け食品安全勉強会」をオンラインで開催しました。

当社は全国の得意先様、取引先様向けに専門の講師を招き勉強会を定期開催しています。食品表示法、HACCP（ハサップ）、クレーム対応など時事に沿ったテーマを選定し、食品安全の知識を深めていただいています。今回は講師として、食品表示管理システムの開発・運用をしている株式会社エフシージー総合研究所様をお招きし、『これでミス無し！原料原産地表示の原則』のテーマで192社317名の方々にご参加いただきました。



左：講師の㈱エフシージー総合研究所 相良 和彦様
右：司会を務めた食品安全管理部 中山 綾子



オンライン勉強会の様子

<2022年4月に完全義務化となる『原料原産地表示』>

12回目を迎えた本勉強会のテーマは『原料原産地表示』。加工食品への原料原産地表示が来年4月に完全義務化となります。来年の3月までは経過措置期間ですが4月1日以降は完全対応しなければなりません。新たな原料原産地表示は、消費者への情報提供を目的として、国内製造する全ての加工食品が対象です。適合した表示の作成や変更作業への対応など、理解を深める機会として本テーマを選定しました。

勉強会では原産地表示の原則を整理したうえで、食品表示基準の解説を交えながら「食品の産地表示」「新たな加工食品の原料原産地表示」「例外的な表示とメリットを考える」「今すぐ使える表示のテクニック」4つのテーマに分け進行。最後には視聴者参加型のクイズを出題し、勉強会の振り返りを行いました。

<サステナビリティとしての活動>

当社は中長期的な取り組みとして、SDGs を重要な目標と捉え、持続可能な社会の実現に貢献しようと 2020 年4月に「日本アクセス SDGs 宣言」を行い、取り組みを強化しています。SDGs が示す社会課題解決へ貢献するために、当社が注力すべき課題として「食の安全・安心」「地球環境」「労働環境」「社会貢献」4つの課題に整理しました。

本勉強会はこのうち「食の安全・安心」の取組みに含まれ、今後も継続的に開催し、産地から食卓までサプライチェーンのリスク低減のため、会社をあげて食の安全・安心に取り組んでいきます。

以上